

05: 社会に開かれた教育課程の実現に向けた教育活動

*現在各機関と検討中

Field 1 「京都」で学ぶ

京都市立芸術大学や様々な外部機関との連携を通じた学びの創出

隣接する京都芸大との連携を図り、日常的に高校生が大学生の制作風景に触れることで主体的な交流・連携が生まれる仕掛けを構築するとともに、新たな高大連携の取組を推進し、生徒の感性を刺激し、キャリアデザインにつなげます。

(取組例)

- 高大共用施設などを活用した高校生・大学生との交流(作品展の相互鑑賞・大学生のギャラリートークへの参加・アートキャンプなどの共同プロジェクトの実施)
- 大学教員による出張授業の実施

京都の玄関口という立地を最大限生かし、地域や大学、企業、伝統産業など、美術を通して、実社会と繋がる「わくわく」する学びに取り組めます。

(取組例)

- 企業との連携による講演会や企業訪問、課題解決型授業等の実施
- 京都の伝統産業に受け継がれるスピリッツ(精神性)とストーリー(物語性)を探究する学び
- 区役所や地域が主催するイベントやお祭りへの参加(下京まちなかアートギャラリーなど)
- 高校施設を活用した生徒作品展やアートイベントの開催
- 小・中学校との連携事業への京都芸大との共同参加

小・中学校をはじめとした年少世代との交流を通して、固定概念に囚われない素直な感覚から学ぶ取組を行うとともに、「描くこと」「作ること」が好きな京都の子どもたちの憧れの「学び場」としての機能を高めます。

また、本市の小・中学校の美術科教員への研修を行うなど、本市美術教育のセンター機能としての役割を担っていきます。

(取組例)

- 展覧会への年少世代との共同作品展示
- 小・中学校への高校教員の派遣指導
- 本市美術教育のセンター機能としての役割を担い、本市立学校教員対象の研修を実施



ギャラリー @KCUA(京都芸大施設)



交流広場



企業と連携した課題解決型学習



伝統産業工房でのインターンシップ体験



下京渉成小学校での合同作品展示発表会

Field 2 「世界」で学ぶ

世界の多様性にふれる機会の創出

海外への派遣研修(現在は選抜制)や外国人留学生との交流等を通して、海外の文化、アート施設や作品に触れ、異なる国で美術を学ぶ同世代の価値観を知ること、生徒の意欲喚起はもとより、「美」への思いや新たな自分と向き合う機会を創出します。

(取組例)

- 海外の美術系高校等への派遣研修やオンラインを活用した交流・共同学習の実施
- 京都芸大をはじめ、外国人留学生との交流



ヨーロッパ研修 フィレンツェの芸術高校訪問



京都芸大留学生と本校学生の交流

Field 3 「デジタル」で学ぶ

ICTを活用した創造的・協働的・個別最適な学び

1人1台所有するiPadを活用し、創造的な学びを創出するとともに、協働的な学びと個別最適な学びを推進します。

また、新校舎に新たに整備するマルチメディア実習室や3Dファブリケーション室などの最新のICT環境を活かし、デジタル技術を活用した現代アートなど、多様な美術領域に対応した教育の充実を図ります。

(取組例)

- 1人1台所有するiPadや各HR教室に整備する電子黒板など、充実したICT環境を活かした教育活動の推進
- デジタル技術を活用した作品制作(3D(AR・VR)、プロジェクションマッピングなど)への挑戦
- オンラインの利点を活かした社会の「知」へのアクセスや外部機関との共同学習の実施



iPadで創造性を高める



iMacで表現を豊かに



メタバース体験を通して感性を磨く